

フジコ・ヘミング

ピースフル・コンサート

ウクライナでの劇的な出会いから5年
平和な世界のためにいま私たちにできることを

Program

チャイコフスキー/バレエ「眠れる森の美女」よりワルツ
チャイコフスキー/バレエ組曲「くるみ割り人形」より花のワルツ
ショパン/ノクターン 第2番 変ホ長調 Op.9-2
エチュード 変イ長調 Op.25-1「エオリアンハープ」
リスト/ハンガリー狂詩曲 第2番 嬰ハ短調 S.244
チャイコフスキー/歌劇「エフゲニー・オネーギン」よりポロネーズ
ショパン/ピアノ協奏曲 第1番より第2楽章
モーツァルト/ピアノ協奏曲 第21番ハ長調 ほか

Fujiko Hemming
Peaceful Concert

ピアノ
フジコ・ヘミング

管弦楽 セントラル愛知交響楽団



指揮
高谷 光信

2022 7.11 月 18:30開演 [17:30開場]
愛知県芸術劇場コンサートホール

2022年
5月20日(金)
10:00~
一般発売開始

全指定席
(税込)

SS席 18,000円(プレミアムプレゼント付き)
SS席 15,000円 S席 13,000円 A席 10,000円 B席 7,000円

主催: JUMA 日本ウクライナ音楽協会 [お問合せ] クラシック名古屋 052-678-5310

アイチケット 0570-00-5310 アイチケット 検索

プレイガイド チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Pコード: 217-225) ローソンチケット <https://l-tike.com> (Lコード: 45382)
名鉄ホールチケットセンター 052-561-7755 芸文プレイガイド 052-972-0430

コンサートの収益は日本ウクライナ音楽協会を通してウクライナ音楽界復興のために役立てさせていただきます。

※未就学児のご入場はお断りいたします。※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等変更になる場合がございます。予めご了承ください。※ご来場にはマスクの着用をお願いします。※入場時の検温(37.5度以上入場不可)、手洗い・消毒など感染症対策にご協力をお願いします。※発熱や体調不良の場合はご来場をお控えください。※車椅子席をご希望のお客様はクラシック名古屋(052-678-5310)へお問合せください。

ごあいさつ

フジコ・ヘミングさんと私の共演は、2017年、在ウクライナ日本大使館のご紹介をきっかけにウクライナのチェルニーヒウで始まりました。その後、ウクライナと日本で共演を重ね、この度の「ピースフル・コンサート」の開催が叶いました。

22年4月現在、ロシアによるウクライナ侵攻は欧州のみならず国際秩序を大きく揺るがす事態となりました。ウクライナの音楽家達は、多くが避難先や軍隊での生活を余儀なくされ、演奏の場を失っています。

このコンサートの収益は日本ウクライナ音楽協会を通して、侵攻終了後のウクライナ音楽界復興のために役立てます。避難先や軍隊から戻った音楽家達が、以前のような素晴らしいスラヴ音楽を奏でられるために、そして、その音がウクライナの人々の心を癒すために…。

音楽を愛し、平和を願う皆様の想いを、フジコ・ヘミングさんの魂の音色に乗せてウクライナへ必ずお届けいたします。

日本ウクライナ音楽協会理事長 **高谷 光信**



PROFILE

ピアノ フジコ・ヘミング

Piano **Fuzjko Hemming**

スウェーデン人画家・建築家の父と、日本人ピアニストの母の間にベルリンで生まれる。母の手ほどきでピアノを始め、10歳でレオニード・クロイツァーに師事。クロイツァーは「彼女はいまに世界中の人々を感激させるピアニストになるだろう」と予言をしていた。東京藝大を経て、文化放送音楽賞・NHK毎日コンクール受賞、その後、ベルリン高等音楽学校に1位で入学、その後、ウィーンでパウル・バドゥラ＝スコダに師事。ブルーノ・マデルナ、レナード・バーンスタイン、チェルカウスキー、マガロフ等多くのクラシック界の権威にその才能を認められて支持を獲得し、コンサートを行っていたが、聴力を失うアクシデントに遭遇。1999年、リサイタルとNHKのドキュメント番組が大反響を呼び、デビューCD「奇蹟のカンパネラ」他をリリース。クラシック界異例の売上で、日本ゴールド・ディスク大賞、クラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤーを4回受賞した。モスクワ・フィル、ロイヤル・フィルなど世界各地の著名オーケストラと共演。彼女と共演したミッシェル・マイスキーは「あなたの芸術を賞賛します」と形容している他、共演した多くのアーティスト達が絶賛している。毎年多くのチャリティ・コンサートを行っている他、大の動物愛護者であり、ドイツは彼女の名を冠した動物保護団体も出来ている。



指揮 高谷 光信

Conductor **Mitsunobu Takaya**

東京混声合唱団指揮者。ウクライナ・チェルニーヒウフィルハーモニー交響楽団常任指揮者。日本ウクライナ音楽協会理事長。ウクライナ国立チャイコフスキー記念音楽院指揮科首席卒業。国家演奏資格ディプロマを取得。指揮を故小松一彦、故伊吹新一、田中良和、藏野雅彦、辻井清幸、Vプラソロフ、故E.ドゥーシェンコ、N.スーカッチに師事。「ウクライナ国際ホロヴィッツピアノアカデミー」「ウクライナ国際シヴィール音楽祭」「ウクライナ国際音楽祭・キエフ夏の音楽の夕べ」「ウクライナ国際バルトケーヴィッチ音楽祭」に出演。現在までに東京混声合唱団、ウクライナ国立リヴィウフィルハーモニー、ウクライナ国立ドゥムカ合声合唱団、ウクライナチェルニーヒウ州立室内合唱団、大阪交響楽団、京都フィルハーモニー室内合奏団、セントラル愛知交響楽団、瀬戸フィルハーモニー交響楽団、東京室内オーケストラ、愛知室内オーケストラなどを指揮。大阪芸術大学演奏学科 客員准教授。名古屋芸術大学芸術学部音楽領域・武庫川女子大学音楽学部、各非常勤講師。第16回京都芸術祭京都市長賞受賞。2012年ウクライナチェルニーヒウ州文化功労賞受賞。2019年チェルニーヒウ州行政長文化功労感謝状受彰。2017、18、19年ウクライナ、2020、22年日本においてフジコ・ヘミングと共演を重ねる。



管弦楽 セントラル愛知交響楽団

Orchestra **Central Aichi Symphony Orchestra**

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市の事業補助を受け1997年に現名称に改名の後、2009年4月一般社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に角田鋼亮が就任。年間約100回の公演はどれも好評を博す。海外(中国・タイ・韓国)でも公演し成功を収める。2015年7月に半田市と音楽文化振興の協定を締結。2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」受賞。